

共に生きる女と男のセミナー

～パワフル、前向き、人生の達人～

タクシーおばさんのがむしゃら人生 青野輝子氏



平成21年10月3日(土)、女性タクシードライバーの草分けである青野輝子さんを講師にお迎えしました。黄色の髪と真っ赤なドレス、名前の青野と合わせて常に交通安全を意識した服装は、45年間無事故で活躍してきたその生きる姿勢を象徴するものでした。

83歳の青野さんの職業人生は、17歳からの学校の先生に始まります。日本は神風が吹いて絶対勝つと教えてきた先生は、敗戦を迎え嘘を教えたことと退職、結婚後1児を設けたものの離婚。青野さんの真価はここから発揮されたと思

います。幼子を抱えて生活できる収入を得るため、これからは自動車の時代とにらんで、自動車セールスの道を選びました。男女差別が今以上に強かった時代、負けず嫌いからトップの成績だったそうです。その後タクシードライバーの道へ、女性ドライバーなんかといわれた時代に男性と同等に扱われることを条件に入社、ここでも四天王といわれる成績を残しています。このバイタリティはどこから来ているのでしょうか。まねができるものではありませんが、お話を聞く中で勇気をもらいました。

こうした活躍がたたえられ、平成21年1月、埼玉県から「荻野吟子賞」を受賞しました。道なきところを切り開いて進むその姿は、この賞をもらうのにふさわしいと改めて感じました。(横山)



青野輝子氏自筆の色紙より

セミナーアンケートより

- プロフィールなどから、男まさりの大柄な女性を想像していましたが、あの小さな体のどこにあれ程のパワーがあるのか驚きました。意志の強さと頑強な身体に感心しました。(50代女性)
 - 正直に生きること、プラス思考で生きること等、青野先生から元気をいただくことができ楽しい時間でした。推進会議の益々のご発展をお祈り申し上げます。(50代男性)
- その他、年代を超えて「元気をもらった」という意見を数多くいただきました。

さいたま輝き荻野吟子賞とは・・・

埼玉県では、新たな分野に果敢に挑戦し、日本で最初の公認女性医師となった荻野吟子にちなみ不屈の精神を今に伝える先駆的な活動をしているなど、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所を表彰しその功績を称えます。20年度事業所では石坂産業株式会社・個人では青野輝子氏が受賞しました。



みよしきらっと★インタビュー

石坂産業株式会社

うねもとのりこ
畝本典子氏 (取締役社長)

働く社員の子育てを応援する石坂産業(株)。平成21年1月さいたま輝き荻野吟子賞を受賞。仕事と子育ての両立をサポートする、さまざまな取り組みについて社長にお話を伺いました。

"廃棄物は未来の資源"を経営ビジョンとして、豊富なノウハウにより95%のリサイクル率を達成し循環型社会の構築に貢献されています。社員100名のうち女性は30名、男性は70名です。



★3K(危険・汚い・きつい)と言われる会社の社長に

5年前に父親である先代の後を継ぎ社長に就任、私で2代目になります。当時、産業廃棄物処理業は3Kと呼ばれるような職場でしたので、女性の視点で改革に乗り出しました。まずは業界のイメージを一新し、一般の人たちにも分かっていただけのような会社づくりを目指しました。

★見せられる職場環境に

幹部職員10名のうち5名が女性ですので、お客さまに対するアピールや、業界のイメージを一新するための見せ方、従業員の教育などについて女性の知識や持っている良いものを活かすことが出来るよう努めています。また、あいさつは仕事を始めるスタートラインと考え、そこがしっかりできないと労働安全性も維持できませんし、良い仕事にも繋がりません。まずはあいさつと、3S(整理、整頓、清掃)の徹底を最初のISO取得の際、基本としました。

★子育てには父親も参加しよう

私も小学生の子どもがいます。社員の平均年齢は39歳、小学校から中学校くらいの子どもの持つ社員も多く、子どもの学校行事に参加できるよう積極的な年次休暇取得の奨励、週休日振替制度、家族の誕生日に1時間早く帰宅できる制度(有給)を設けています。また看護休暇にも有給を適用しました。在宅で出来る仕事や短時間勤務も可能な環境も整えてきており、子育てをしながらの勤務が成り立つよう進めています。

★『花木園』について

緑の森『花木園』は、自然との調和を目指してホテルの棲める空間です。従業員とその家族のほか、地域の人にも開放し癒しのひとときを提供しています。11月8日は「秋空を楽しむ会」が開催され、草笛の演奏やゲームなどが森の中で行われ大勢の人が楽しんでいました。

《インタビューを終えて》

- 工場内で会う人全てが「こんにちは！」と声をかけてくれた。社長の「まずはあいさつから。」と言うのが隅々までに行き届いていました。
- 「扱いにくいから扱おう」という言葉に、女性の感性が随所に盛り込まれより働きやすい環境に変わっていくことを予感しました。
- 環境に配慮している様子出入りするトラックの洗浄やリサイクル物を利用した庭園が印象的でした。

(横山・齊藤・浜砂・佐々木)

